

# 漁海況月報 < 特別号 >

## ～シラス漁における4～6月の内湾禁漁について～

令和6年6月11日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

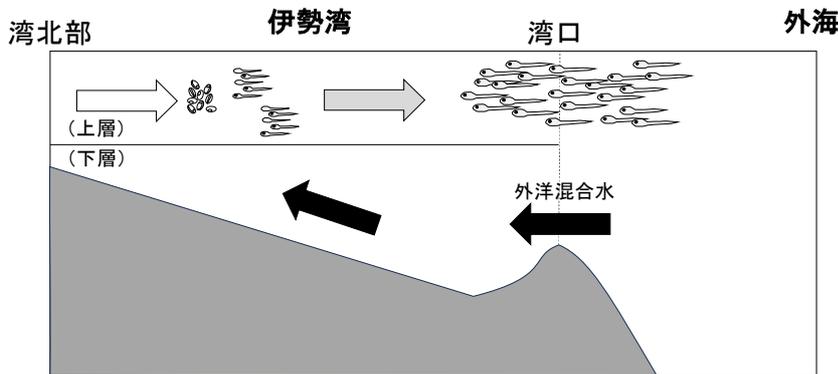
### 1 シラス漁場の形成海域

海 域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渥美外海	96%	80%	75%	81%	49%	48%	46%	35%	19%
伊勢湾	4%	20%	25%	19%	51%	52%	54%	65%	81%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※中村・岡田 (2001) より

伊勢湾内で一定規模以上の漁場ができるのは、**8月以降**。  
(6月に内湾で操業できた年は少なく、漁場ができたとしても小規模なことが多い。)

### 2 伊勢湾内の流れ (エスチュアリー循環)

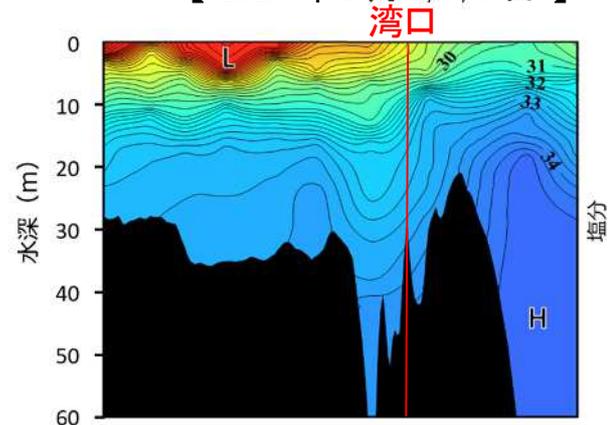
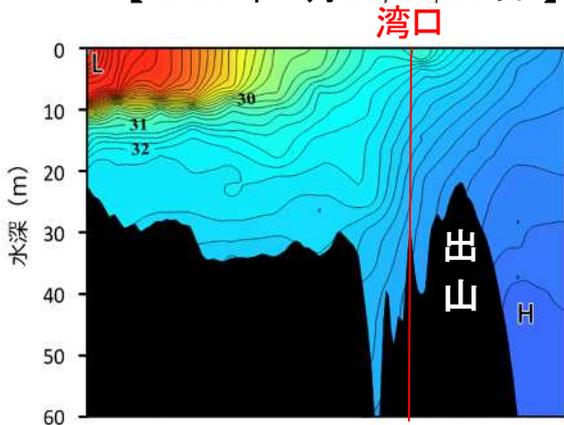


上層…  
河川水系の軽い低塩分水が外海へ流出

下層…  
外洋水系の重い高塩分水が外海から流入

エスチュアリー循環が**弱い**状態  
【 2023年8月23, 24, 29日 】

エスチュアリー循環が**強い**状態  
【 2023年6月5, 7, 8日 】



上層	低塩分水は、外海まで及ばない。	河川水多く、低塩分水が外海にも及ぶ。
下層	外海から内湾への流入は少ない。	外海水の流入が多く、湾奥まで影響。

内湾の卵・仔魚は、上層に多く分布し、降雨により河川水が増えると、外海へ運ばれやすくなる。降水量の多い6月は外海へ流されやすい。

### 3 2023年6月の状況 <外海への卵の流出と漁場形成状況>

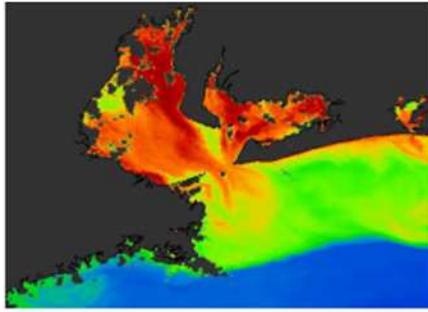


写真 クロロフィルa濃度  
(2023年6月16日)

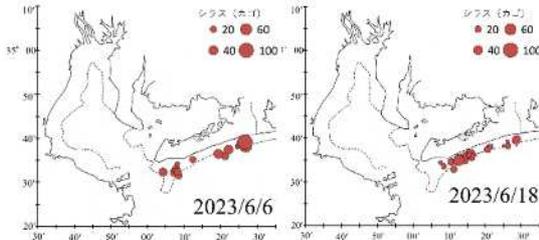


図 操業状況 (18ヶ統計)

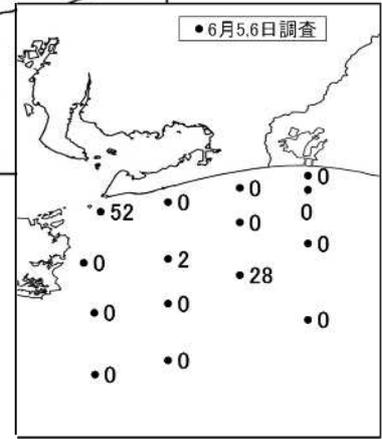
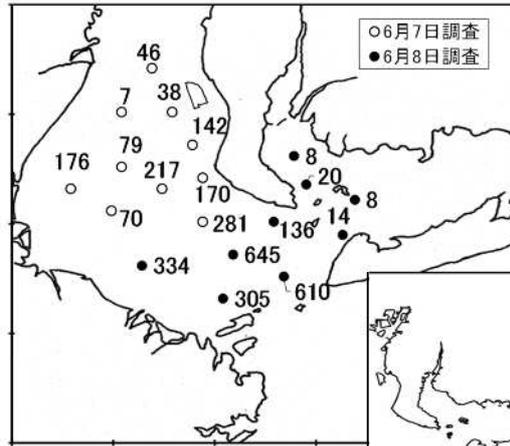


図 卵採集数

(内湾：2023年6月7, 8日)  
(外海：2023年6月5, 6日)

内湾水と共に外海へ卵が流出。外海で漁場が形成し、好調な漁獲が続いた(2023年※)。  
※5月までは伊勢湾の北部に自主規制ラインを設定し、それ以南で操業。6月に入ると内湾を全面解禁したが、水試の調査結果をみて、卵保護のため、6月15日～ぱっち解禁まで再度内湾禁漁とした。

### 4 2024年の状況

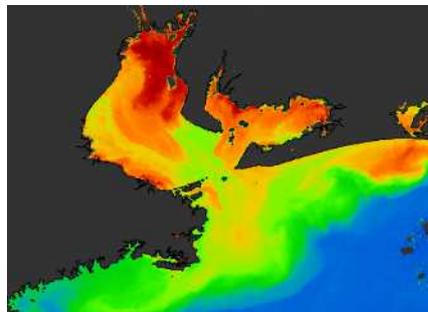


写真 クロロフィルa濃度  
(2024年6月5日)

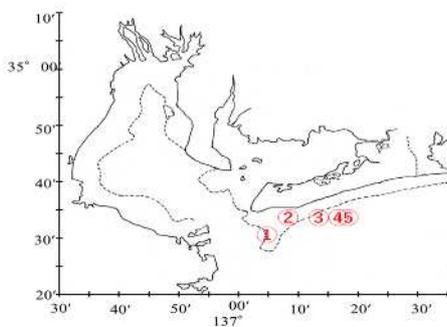


図 6月5日の操業状況(5ヶ統計)

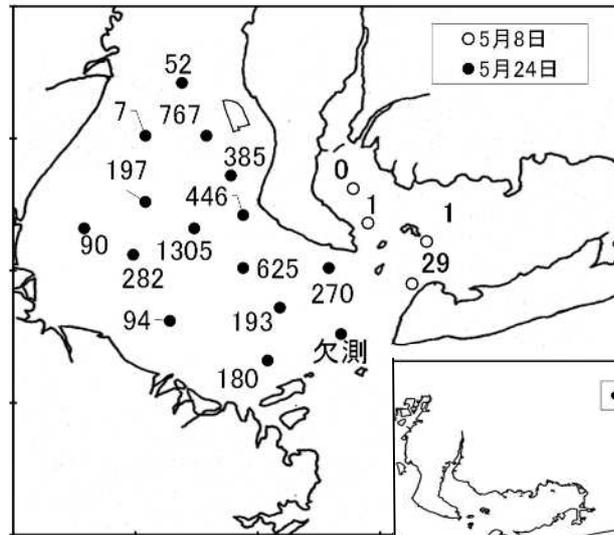
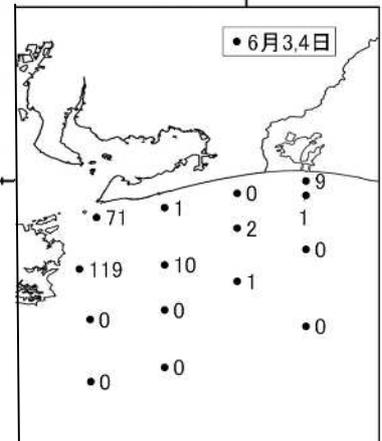


図 卵採集数

(内湾：2024年5月8, 24日)  
(外海：2024年6月3, 4日)



今年も内湾には、卵・仔魚共に豊富に分布している。  
内湾水の外海への流出も確認できており、外海で漁場が形成している。  
来遊量は多くないが、外海からも小型のシラスが来遊している。  
内湾から外海へのシラスの供給は今後も継続すると思われる。

## 5 伊勢湾内の仔魚の分布と大きさ

<ボンゴネット調査結果 (2016~2023年)>

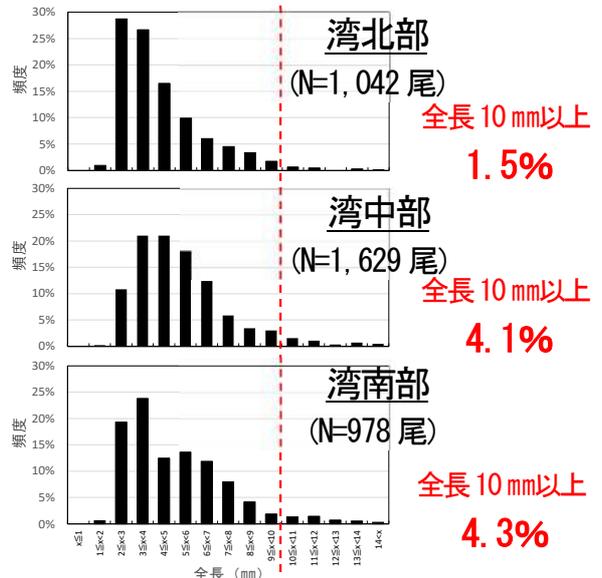
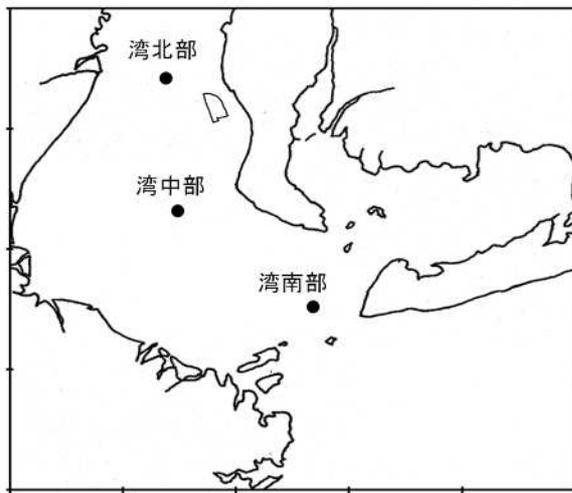


図 ボンゴネット調査点図

図 仔魚の全長組成 (2016~2023年)

湾北・中部で産卵された仔魚は、成長しながら南下し、外海へ。

<カイトネット調査結果 (2024年6月6日)>

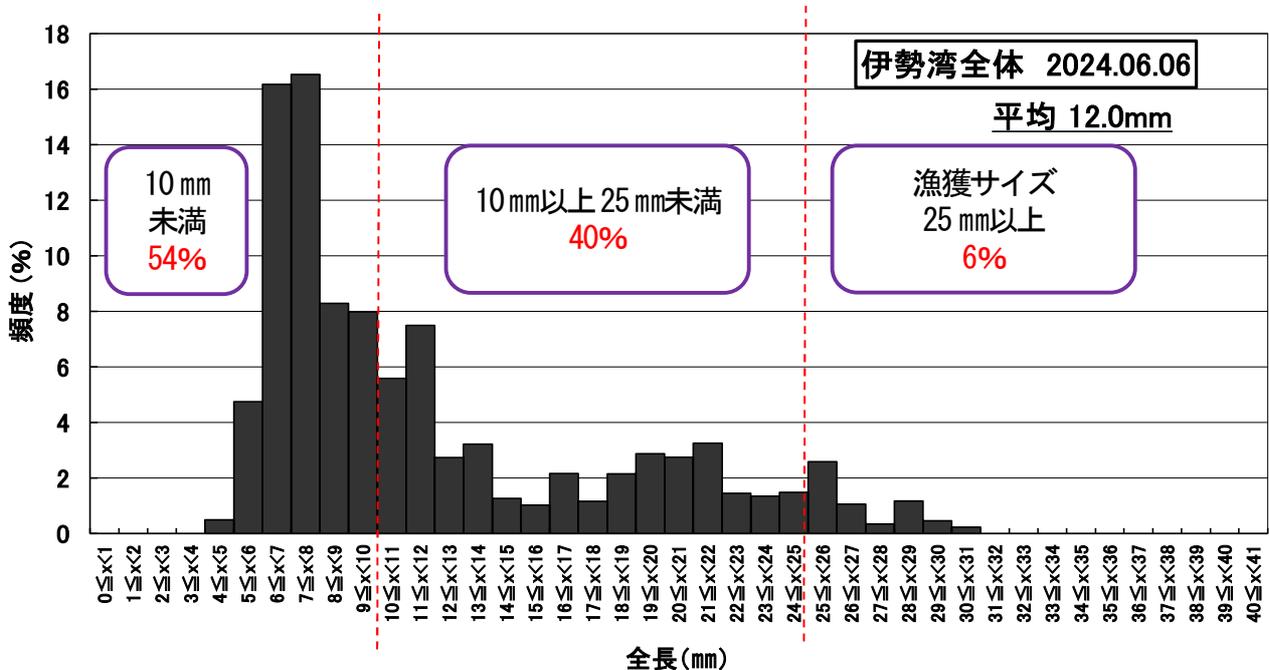


図 カイトネットで採集されたシラスの体長組成

外海から内湾に入った漁獲サイズのシラスが一部いるが、全体的にまだ小さい。

## 6 4~6月の内湾禁漁による効果

- ぱっち網による親魚保護により、内湾の卵・仔魚は豊富だが、仔魚は、漁獲サイズに満たないシラスが主体 (カイトネット調査でも確認)。内湾操業により、これらの小型のシラスの生残を悪化させてしまう可能性がある。
- 伊勢湾の上層水は、外海に向かって流れており、降水量の多い6月はそれが顕著。仔魚は外海に向かいながら成長し、湾南部や外海で漁獲サイズに達する。2023年は内湾を禁漁し、内湾由来の卵・仔魚が成長し、外海で好調な漁獲が続いた。
- 6月まで内湾禁漁にすることで、小型の仔魚が保護され、漁獲に期待できる。
- 解禁する場合は、区域を区切り、湾北中部での操業は避け、湾南部と外海での漁獲を続けられ、継続的に仔魚が補給され、持続的な漁獲の可能性が高まる。